八峰コミスク通信

コミュニティ・スクール推進中

平成30年度
第　1　号
H30/４/13
文責
CSディレクター
川尻

八峰町小中学校では昨年度からコミュニティ・スクール事業に取り組んでいます。コミュニティ・スクール（以下コミスク）というのは、簡単に言うと「（学校・家庭・地域の）みんなで子どもたちを育てましょう」ということです。これまでも、八峰町の小中学校では、家庭や地域の力を借りて教育活動を行ったり、子どもたちの安全を確保する活動を行ったりしてきました。コミスクに取り組むことによって、それらの活動をさらに推進するとともに、子どもたちと地域の人たちの関わりを深めることで、子どもたちの健全な成長とともに、地域の活性化につなげたいと思います。

事業が開始され1年、地域住民等の代表による熟議やカレンダーの発行などを行っていますが、どのような取組が効果的なのか、まだ手探りの状態です。この取組の一環として、コミスクの意義や取組、町内３校の様子などを家庭・地域の皆さんに伝えたいと思い、不定期ですが「八峰コミスク通信」を発行します。

学校・家庭・地域の皆さんには、今後もご協力をお願いすることになりますが、どうぞ、よろしくお願いします。

教職員・保護者・地域住民の代表が、八峰町の教育について語り合う熟議

地域の皆さんに、学校の活動に興味をもってもらえるよう発行しているコミュニティ・スクールカレンダー

開　く	聴　く	関わる	つなげる
より開かれた学校を推進し，保護者や地域住民の学校教育への理解を図る。	保護者や地域住民の学校に対する声を引き出し，学校運営に反映させる。	地域の教育力の活用や地域貢献等により，児童生徒の郷土愛を醸成する。	学校への関わりを媒体とし，地域住民・団体同士のつながりを強化する。
○校報などのお便りやＨＰによる学校情報の提供 ○地域住民や保護者が気軽に学校に訪れる機会の設定 ◎コミュニティ・スクールの取組などを紹介する通信の発行	○保護者アンケートなどによる学校経営の評価や保護者の意見の把握 ◎コミュニティ・スクールに関するアンケートの実施 ◎地域住民・保護者・教職員の代表による熟議の実施	○総合的な学習などでふるさと先生による指導や施設や職場訪問の実施 ○クリーンナップなど地域に貢献する活動の実施 ○子どもたちが地域の方とふれあう活動の実施	○各校の教育活動を支援する地域支援組織の編成 ◎学校と各種団体等とを結び，連携を密にするネットワークの作成

○各校コミュニティ・スクールの取組
◎町全体のコミュニティ・スクールの取組

八峰町コミスクが目指すもの

コミスクには地域住民・保護者・教職員の代表による学校運営協議会が設置され、学校運営基本方針を承認したり、意見を述べたり、評価したりするとともに、学校への支援について協議します。八峰町には３校の小中学校がありますが、３校に一つの学校運営協議会を設置し、町ぐるみで子どもたちを育てるというスタンスでコミスクに取り組んでいます。

八峰町コミスクは、「将来の八峰町を支える人材の育成と持続可能な地域づくりの推進」を目指して、各校としても全体としても次の４つの活動に力を入れています。

開　　く…より開かれた学校を推進し、保護者や地域住民の学校教育への理解を図る。
聴　　く…保護者や地域住民の学校に対する声を引き出し、学校運営に反映させる。
関 わ る…地域の教育力の活用や地域貢献等により、児童生徒の郷土愛を醸成する。
つなげる…学校への関わりを媒体とし、地域住民・団体同士のつながりを強化する。

保護者・地域の皆様にも学校と一緒に子どもたちを育てる手助けをして欲しいと思います。と言っても「難しいことを教える」のではなく、「子どもたちと一緒に活動したり、見守ったり、温かい言葉かけをしたりしていただく」ことが、大事だと思っています。どうぞ、よろしくお願いします。